
開会挨拶

太平洋人材交流センター
専務理事 三田昌孝

本日はたいへんお忙しいなか、私ども太平洋人材交流センター（PREX）のシンポジウムにご参加いただきまして誠にありがとうございます。

私ども太平洋人材交流センターは、通称 PREX：プレックスと呼ばれております。17年前の平成2年に、当時の関西の財界、自治体、そして大学、いわゆる産官学の総意を結集いたしまして、設立をされました公益法人でございます。

当財団の活動、目的を一言で申しますと、海外の開発途上国の発展のために、その人材育成のお手伝いをするということでございます。そして、人材育成のための研修やセミナーを通じまして、国際交流を促進する活動をしております。そのような活動のなかで、私たちが海外に向かって発信します関西の特色、あるいは魅力ということにつきましては、私たちはまだまだ、勉強したりない部分がたくさんあるのではないかなと思っております。

関西は、歴史、文化、そして日々の生活のなかにおきまして、非常にすばらしい魅力を持った場所であると思っております。その意味では、本日、関西の特色、そしてその魅力を生かした、これからの国際交流、そして人材交流を考える。これらをテーマにシンポジウムを企画しようじゃないかということで、今日、始まったわけでございます。

日本の歴史、とりわけ、なにわの歴史に、たいへん詳しい大阪歴史博物館の館長 脇田修先生の基調講演につづきまして、いろいろな分野の国際交流の第一線で活躍しておられます各団体のご代表の方々をパネリストとしてお迎えしております。それぞれの活動の中身について、ご紹介をしていただきながら、また、意見交換をしていただこうと、思っております。今日はいろいろな切り口で、関西の特色、そして魅力、さらに国際交流と、こういうテーマにつづきまして、皆さん方と一緒に考えていきたいと思っております。そして私ども PREX にとりましても、今後、私たちの活動のなかへ、取り入れていける大きな指針として、利用していきたいと思っております。

それでは本日のシンポジウムを最後までお付き合いいただきますように、よろしく願いいたします。ありがとうございます。